

おすすめ本の紹介

one's favorite book



生きがいについて

電気システム工学科
吉田 義昭 先生

神谷美恵子 著/みすず書房

もしも、絶望的な病や苦難に直面したら…？ 苦難を乗り越えるカギは、ずばり「生きがい」。本書は「生きがい」を考えるヒントを与えてくれます。

著者は紆余曲折を経ながらも、ハンセン病患者の医療に生きがいを感じ、生涯を捧げた医師です。本書から「生きること」、「考えること」の醍醐味も味わってほしいと思います。



二つの山河

知的情報システム学科
山岸 秀一 先生

中村 彰彦 著/文藝春秋

第一次大戦中の板東俘虜収容所長・松江豊寿の実話に基づいた小説です。ドイツ人捕虜に対して「彼らも祖国のために戦った

のだから」と人道的に接し、可能な限りの自由と自治を認め、様々なドイツ文化をもたらしました。第九が日本で初めて演奏されたのもこの収容所です。100年も前に「ノーサイド精神」を持って「敵」に接した松江豊寿の武士道精神に触れてみて下さい。



旅行が楽しくなる日本遺産巡礼 西日本30選

建築デザイン学科
光井 周平 先生

磯達雄 文、宮沢 洋 イラスト/日経BP社

建築を学ぶ学生はもちろん、そうでない学生にもぜひ一度は訪れてもらいたい西日本各地の建築物30件が紹介されています。短いけれども要点が詰まった文章と、建物の魅力を分かりやすく伝えてくれるイラストとで構成された読みやすい一冊。この本を片手に、日本の魅力的な建築物を巡る旅に出よう。



田宮模型の仕事

食品生命科学科
畠中 和久 先生

田宮俊作 著/文藝春秋

プラモデルメーカーとして誰もが知る田宮模型。著者の田宮俊作会長は、早稲田大学法学部卒でありながら、情熱と信念をもって、

プラモデル化するために戦車や車を精力的に取材し「ものづくり」を進めていきます。技術者を目指す人には男女を問わず、是非読んでほしいおススメの一冊です。



がんばらない働き方

附属図書館
伊藤 敦 さん

ビョートル・フェリクス・グジパチ 著/青春出版社

働き方改革関連法案が施行され、生産性向上がますます注目されるようになりました。本書では、Google社で人材育成を手掛けた著者が同社

で実践した「10倍の成果を出す方法」や、なぜ「仕事をがんばらない」のか、など興味深い内容が展開されています。すべてをそのまま受け容れて実践する必要はないと思いますが、「こうしたやり方、考え方もある」と認識し、今後の働き方の参考にするには価値があると考えます。今仕事をしている人たちだけでなく、未来のグローバルな環境の中で新しい仕事をする学生の皆さんも一読されることをお勧めします。



聞く力

附属図書館
丸山 富穂 さん

阿川佐和子 著/文藝春秋

現代社会では、スマホやAI等の普及により意志の疎通・人間関係が希薄になり、大きな社会問題になっています。

円滑な人間社会を形成するには、コミュニケーションが必要です。そのためには、人の話を聞く・話を聞き出すが第一歩です。まずは「聞く力」を読んでみましょう!! 一方的な「おしゃべり」は、コミュニケーションではありません。



この世界で死ぬまでにしたいこと2000

食品生命科学科
近藤 令奈 さん

TABIPO 著/ライツ社

学生のうちにしてみたいことはありませんか？ 私は世界を旅してみたいです。この本は世界の遊び方が2000種類ズラリと並んでおり、ページをめくると世界旅行をしている気分になれます。魅力ある世界の写真をみながら想像を膨らませることができ旅に出てみたくなる1冊です。



麦本三歩の好きなもの

電子情報工学科
託見 勇輝 さん

住野よる 著/幻冬舎

この本では、おっちょこちょいな女性の日を描いています。「会社に行きたくないから

サボろう」など。そんな日常で彼女なりの考えを編み出し、葛藤していく姿を見ながら、共に考え、感心させられました。住野よるさんは若い年齢層向けの作品なのでとても読みやすいです。本を読み始める方にはとてもおススメなのでぜひ参考にして下さい!

